

●京都大学宇治川防災研究所（ラボラトリー）の中聖牛用の竹蛇籠9本完成

12月17日は冷たい冬の雨になりましたが、16日の午後に竹割をしておいたので、集合した10時に出発できました。宇治川の防災研究所(ラボラトリー)に到着すると竹門先生がいち早く門扉を開けてくださっていて今日作る5本が用意されていました。持ち込んだ胴巻き作業と挨拶をそこそこにして取り掛かりました。今日は人数の加減で出来上がるだろうかと心配していましたが、顔触れを見ると皆さんはすでに何回も経験を積んだ方たちばかりのベテランでしたので午後1時過ぎには作り上げることができました。時間があるのでドッキングをして竹蛇籠作業がすべて完了できました。そして中聖牛の組み立ては新年1月28日の予定です。その2~3日前に栗石の納入を行う計画となっています。28日(土)の作業開始時間は午前10時から始める予定です。今のところ29日(日)に記念の竣工式を行う予定にしていますが、多分28日に出来上がると思われまますので、その心構えでご参加をお願いします。

●冬の昆虫観察会 12月18日 6世帯15人(子供7人)でにぎやかに 真冬の寒さの中、大奮闘

スタッフ7人と講師に桜谷保之前近畿大学教授を迎えて、この冬一番の寒さの厳しい日曜日に開催し、ゴマダラチョウの幼虫32匹とキタキチョウ2頭が見つかりました。昨年は2匹のオオムラサキの幼虫を発見できましたが、今年は20人以上の皆さんが2時間余の奮闘にも及ばず、オオムラサキの幼虫は発見できませんでした。樹液を出すクヌギやコナラが



老木化や台風の影響で倒木の影響：里山林が大きく変化してきているのではないかと考えられます。里山林の再生が急がれます。エノキ林(20本以上)が健在でありますので、今年は植樹に力を注ぎ、里山農園を代表する国蝶オオムラサキが乱舞するところを再現したいものです。

この日は桜谷先生に学んだというけいはんな記念公園に勤務されている稲森雄大さんが出席いただきました。お隣の木津川市にお住いのことですので、昆虫関係のスタッフとして力を発揮していただきたいと思っています。

●第3回イタセンパラの復活を目指す会 12月18日 京田辺中央公民館で開催 会議記録を掲載します

出席者	稲本 桜谷 光田 太田 福井 大村 有田 金田 森島 播川 山村
ブルーギルの性質	春から秋が釣りやすい
ブラックバスの性質	適温 22~27度 10度以下では活動しない
府県問題	大阪府と京都府の取引が解決される 水族館の福富氏や河崎氏の対応 木津川への放流目的は譲渡目的に適さない 2世の取り扱いは別問題
移植の時期	23年の国の審議会の承認となる 5月に決定 9月に京都に譲渡され
移譲の時期	24年の春または秋の時期に多量の産卵が実現すれば 木津川へ放流
放流の可否	適正な産卵が実現すればの仮定の話

草刈り時期	カラシナは2～3月に刈り取るべき 花が咲き実のなる時期を考慮
へドロ問題	オオブタクサは通路部分の刈り取りが最低必要 少なくとも6月に実施 イタセンパラ、二枚貝は新鮮な環境を好む へドロの除去は実施すべきだ 水の排出に伴って同時進行すべき 国交省の仕事ではないか 木津川出張所長は学者の了解が得られた場合、実行可能だろう 以前明言 奈良の北川先生や竹門先生等の賛同を得られればのこと
草刈り問題	オオブタクサ 秋にかけて木質化する 花が咲き実ができるのと種のバラマキとなる 6月に刈り取ること カラシナ 成長が早い 2・3月に駆ること オオブタクサ抑えになる ツルクサ
通路問題	A⇒B 通路確保 現在通路は判明している 確保できている B⇒C 通路無理 以前は軽トラックで通行可能だった 進行できず 駐車場⇒A 通路確保 通路跡は判明している 通路⇒C 通路不明 雑草繁茂で前進不可能 堤防から侵入可能
補助金(フィランソロピー協会)	水中ドローン 買っておくべきか 水中カメラで代用可能 環境測定しておくべき ワンド周囲の水温測定 気温 水害対策記録流失の不安 ブタクサ問題 年間2回を 実施 時期か 木質化前に刈り取りを(3～4mに) ワンドの水の排出問題 国交省の姿勢にかかっている 我々では無理か(経費・道具など) イタセンの生息問題 生育調査-DAN 対応(水分析で可能) 稲本氏知人 見積もり可能 地引網の購入 細かい網の目のものを用意すべき 現有は成体用 稚魚用を 積極的な学者の参加働きかけ 魚=竹門先生 北川先生=桜谷・稲本 魚=綾先生



- 2022年度里山の会 十大ニュース 候補 27 項目 順不同です お気づきの候補項目をご連絡ください
- ①七草摘み オミクロンの流行で中止と決定 ②中聖牛5群 19基出来上がる 竣工式46人で
③フィランソロピー協会からの寄付(50万円)の申し入れ ④長年活用した里山の会事務所が仮事務所
に移転 ⑤結成25周年記念表彰15名 ⑥NHK/TVで放映される 精華町 中聖牛20km ⑦京都水
族館イタセンパラ種申し入れ 受諾の方針確定 ⑧満開の桜の下で2年ぶりに親子花見乗船体験再開 E
ボートに95組が乗船 ⑨2年ぶりに春の野草を食する会 52名の参加で大成功 ⑩レンリソウ観察会
でカルガモ親子やヌートリア大熊川で発見 ⑪春の除草でフナバラソウ刈り飛ばしとなる 3か所
⑫城陽市教育委員会への協力で魚とり実施45人参加 ⑬宇治川での水難事故大きな話題になる 小学生
2名死亡 ⑭ホタルの集いと里山音楽会ウクレレで楽しむ 蛍空前の乱舞する ⑮初めてヤマトサン
ショウオオ生育調査実施 京都府京田辺市職員出席 ⑯関東地方でつゆあけ最速6月27日の宣言 28日
には関西も ⑰夏の昆虫観察会(オオムラサキ観察)ノコギリクワガタ95匹トラップに ⑱定番の魚
取 会場激しい雑草繁茂とコロナと熱中症、スタッフの体力減退で中止 ⑲イタセンパラの復活を目指
す秋の講演会39名の参加で成功させる ⑳第3回目のカヌー体験34人の参加で成功 ㉑竹蛇籠の竹
確保に苦労する 木津川出張所所長板坂氏立会される ㉒稲生氏が摂南大学で新学部設立のため協力要
請に来所(現代社会学部) ㉓桂川(嵐山・世界遺産)に竹蛇籠設置全面協力 京都新聞社 梵語で紹介
㉔昨年に続いて同志社大学サッカー部2日間30人が里山農園周遊通路建設にボランティアとして来所

②京都大学宇治川ラボラトリーで竹蛇籠製作講習会開催 4 日間講師役を務める ②⑥里山農園に白土山への周遊通路完成 ②⑦大村理事長 米配達中に転倒

29 日の事務局会議出席者の投票で決定されます。重複するものがあればご提案ください。

●小川芳也さんの松江通信 No. 12

さて、今週からは八岐大蛇退治伝説で舞台となった箇所について説明を加えたいと思います。右図は、斐伊川水系の上流部にあたります。地名では雲南市木次町が上流と中流の境、尾原ダム付近より上流は奥出雲町になります。稲田神社は須佐之男命の妻となるクシナダヒメの生誕の地、天が淵は八岐大蛇の住んでいたところ、八本杉は須佐之男命が八岐大蛇を退治した後に大蛇の首をはねて土中に埋めその上に八本の杉の木を植えたところとされています。この続きは次回に…



●太田敏之さんの「小笠原旅行の概要」No. 3 小笠原の事

小笠原諸島は 2011 年に世界自然遺産に登録されました。東京から南約 1,000 キロメートル、大小 30 ほどの島々からなっています。一般の人が住んでいるのは父島に 2,000 人余り、母島に 500 人ほどだけです。母島は父島から 50 キロ南にあります。小笠原諸島には他に父島から南南東へ 300 キロ離れた硫黄島、970 キロ離れた日本の最南端の沖ノ鳥島、父島から 1200 キロ離れた日本の最東端の南鳥島などがあります。

行政としては東京都で、伊豆 7 島と同様、いずれの郡にも属しない東京都小笠原村です。走っている車は品川ナンバーで、小さな島なので軽自動車を中心です。ガソリンは 1 リットル 250 円ですが、住民には 50 円の補助があるそうです。自動車教習所はなく、本土へ行って、宿泊教習等で免許を取る必要があります。

ほとんどのものが週一回のおがさわら丸で運ばれてきます。生鮮野菜などは、おがさわら丸が着いた当日または翌日の午前中に購入するそうです。スーパーが 1 店と生協が 1 店あります。本屋はないそうです。昔からネットショッピングが盛んですが、運送会社に気をつける必要があります。日本郵便とヤマト運輸は（すごく太っ腹）都内と同一料金で運んでくれますが、他の運送会社だと数千円の離島料金が取られるそうです。11 月末でも昼間の服装は半袖の T シャツと半ズボンで ok です。私も長袖シャツやトレーナーを複数持っていきましたが必要ありませんでした。でも海に入る時はウェットスーツを着用しました。（無料で貸してくれます。）この島の基幹産業は観光業で、2,500 名余りの村に週一回、定員 894 名のおがさわら丸が観光客を運んでくれます。もちろん島民もおがさわら丸を利用しており、おがさわら丸の運賃には 3 割の島民割引があります。

年の初めは **参加者募集** ← 七草摘みと七草粥の会へ ←

君がため 春の野に出でて 若菜摘む 我が衣手に 雪は降りつつ ←



新春に荒れ野に出て、新鮮な野草に出逢い家族の一年の健康を願い、若菜を摘み健康を祈願するための、七草粥を味わう取り組みを行います。店頭での商品ではなく真正正路の若菜を手で摘んでみましょう。 ←
判りやすく説明し間違いやすいもの選別のお手伝いもいたします。お気軽にお越しください。余興で初笑いも考えています。お屠蘇で乾杯も行います。暖かい焼き芋も食べられます。 ←

正月6日(金) 10時~12時30分京田辺市 水取 里山農園 ←

参加費 一人500円 (大人小人ととも) 少雨決行 (無料駐車場あり) **募集人数 先着60人**
申込み先 fddb257@ybb.ne.jp **記入内容** 住所 氏名 年齢 電話番号 ←
服装 帽子 軍手 しっかりした靴(草むら歩き) 手拭 防寒対策 雨具 ←
持ち物 筆記具 カメラ 入れ物袋(濡れます) ←
集合場所 普賢寺小学校前 9時40分 里山農園へ ←
開催場所 京田辺市水取 里山農園 普賢寺小学校から400m南へ ←



主催 NPOやましろ里山の会 京田辺市田辺深田15 0774-64-4183 ←

七草摘みと七草粥を楽しもう ←

2023年1月6日(金) ←

午前10時00分集合 京田辺市普賢寺小学校前 ←



「君がため春の野に出でて若菜摘むわが衣手に雪は降りつつ」と古今集にあります。 ←
が、今は、トンネル栽培によって真冬でも青菜を自由に求めることができる時代になりました。 ←
少し前の暮らしはこの歌のように冬季はビタミン不足を補うためにこのような生活がされていました。 ←
又、以前は木津川の堤は北風の吹きすさぶ寒さが厳しい場所で開催してきました。 ←
足元では春の七草がしっかりと芽吹いています。 ←
生命の素晴らしさを目にすることができます。 ←
教育棟が出来て里山農園で七草が摘めますので暖か農園で行います。 ←
お正月を静かに過ごして来られた皆さん一度自然の息吹と新鮮な緑に触れてみようではありませんか。 ←
ご参加をお待ちしています。 ←

参加費 500円 持ち物 手袋 帽子 しっかりした靴 手拭 エコバック ←

現地受け付け 問合せ電話 0774-64-4183 主催 NPOやましろ里山の会 ←

手作りのしめ縄作いませんか ←

これまで毎年しめ縄づくりを行ってきました。今年もみんなで ←

ひと時を楽しみたいと思います。誰でも簡単に作れます。 ←

新年を手作りで迎えましょう。餅むらも用意出来ました。 ←



12月25日(日) 集合10時~12時 午後は自由参加 ←

里山農園 教育棟 少雨決行 ←

参加申し込み 住所 氏名 年齢 電話番号 ←

メールで申し込んでください fddb257@ybb.ne.jp ←

受付人数 25人 先着順で行います 受付開始 12月20日~23日 ←

講師 里山の会理事長 大村幸正 ←



主催 特定非営利活動法人 やましろ里山の会 ←
京田辺市田辺深田15 0774-64-4183 ←